

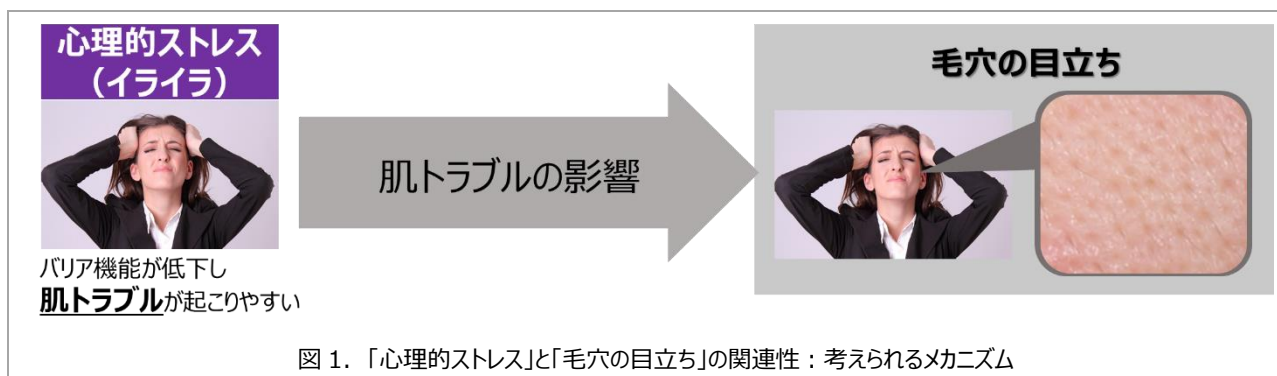
NEWS RELEASE

心理的ストレスは毛穴目立ちの大敵 鍵は「イライラ」と「肌トラブル」の起こりやすさ

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：釘丸和也）が、毛穴の目立ちやすさの要因について 30～40 代の女性を対象としたアンケートデータを解析した結果、以下の 2 点が判明しました。

- ① 心理的ストレス（イライラ）を感じている人は、毛穴が目立ちやすい
- ② 肌トラブルを起こしやすい人は、毛穴が目立ちやすい

心理的ストレスは肌に悪影響を与えていることから、イライラによる心理的ストレスが肌トラブルの原因のひとつとなり、毛穴を目立たせている可能性が考えられます（図 1）。この知見は、今後ポーラ・オルビスグループの製品に活用していく予定です。



背景

多くの女性が抱える肌悩みのひとつが、毛穴の目立ちです。その要因は毛穴の詰まりや加齢など、さまざまであると言われています。今回、毛穴の目立ちが実際にどのようなことと関係しているのか、アンケート解析したところ、心理的ストレスとの意外な関連性が判明しました。

心理的ストレス(イライラ)を感じていた人は、毛穴が目立っていた

30～40 代の女性を対象とし、毛穴目立ちを評価しました（基準画像をもとに、頬の毛穴を目視評価にてスコア化）。また同じ女性に『ここ 1、2 か月の「イライラ」の有無』についてアンケート調査し、毛穴目立ちとの関連性について解析しました。その結果、イライラを感じていた人は、毛穴が目立っていたことがわかりました【補足資料 図 2 (a)】。これにより、イライラに代表される心理的ストレスが毛穴を目立たせる一因となっている可能性が明らかとなりました。

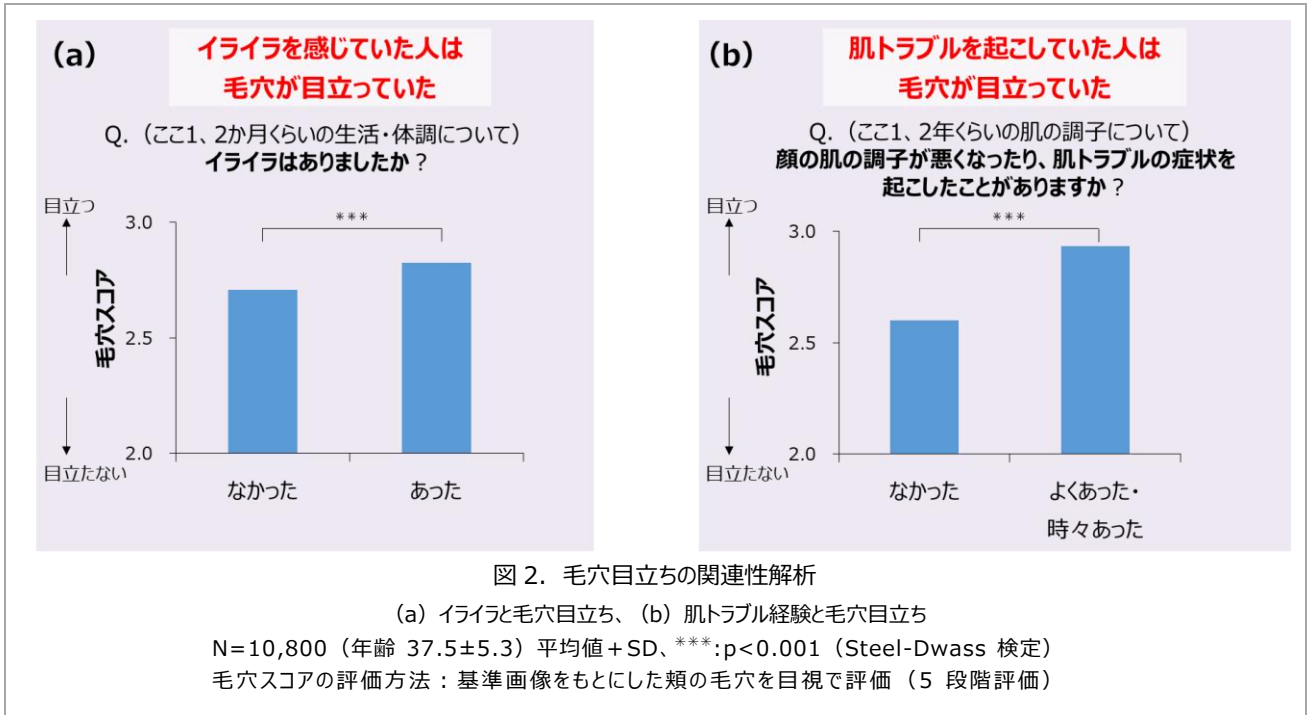
心理的ストレスが引き起こす肌トラブルが、毛穴の目立ちやすさを加速させていた可能性

心理的ストレスは、肌のバリア機能を低下させ、敏感でトラブルを起こしやすい肌状態にしてしまうと言われています。そこで、先ほどと同じ女性を対象に『ここ 1、2 年での肌トラブルの頻度』についてもアンケート調査し、毛穴の目立ちとの関連性について解析したところ、肌トラブルを起こしていた人は、実際に毛穴が目立っていたことがわかりました【補足資料 図 2 (b)】。このことから、心理的ストレスが肌トラブルを引き起こすことで毛穴の目立ちを加速させている可能性が推測されました。

毛穴目立ち改善に新たな選択肢

一般的には、毛穴が目立つ原因として皮脂分泌量の多さが挙げられますが、今回の結果から、心理的ストレスや、それに伴うバリア機能の低下も毛穴を目立たせている可能性を見出しました。毛穴目立ちの解消には、心理的ストレスの原因を除くことはもちろん重要ですが、バリア機能をしっかりと保つことも効果的であると考えられます。バリア機能のケアには、十分な保湿や肌に優しい敏感肌用洗浄料を使用することが有効です。

【補足資料】



【備考】ポーラ・オルビスグループの研究体制について

Multiple Intelligence Research Center (MIRC:マルチプルインテリジェンスリサーチセンター)

(株式会社ポーラ・オルビスホールディングス)

化粧品の既存の枠を超えた新価値創出を狙い、研究戦略を策定し、研究成果のグループ最適配分の役割を担います。また、マーケットリサーチとイノベーション案件の探索に特化した専任スタッフを配置し、全世界から次世代のニーズを収集、最先端技術との連携や投資案件の探索を行います。



Frontier Research Center (FRC:フロンティアリサーチセンター)

(ポーラ化成工業株式会社)

グループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社のFRCは、MIRCが決定した研究戦略に基づいて、新価値創出を目的とした研究を実行し、新規・既存事業へ活用するシーズを創出する役割を担います。新規有効成分の開発を担うだけでなく、イノベーティブな研究を行っています。